

平成28年度(2016年度)事業報告

平成28年(2016年)1月1日～12月31日

I 事業実施報告

大阪自然史センターは、60年余りの歴史を持つ大阪市立自然史博物館友の会(1955年5月発足)事業を中心に発展し、2017年に16周年となります。広く自然史科学の発展と普及にとり組み、大阪市立自然史博物館の事業進展に寄与することを通して、市民の自然に対する理解を深めることを目的として事業を実施してきました。

未来の世代たちが豊かな社会を築くために自然史知の視点を持ち続けていく努力が不可欠とされています。センターのミッションでもある自然史科学の普及啓発は、自然を見る、見つめる、見続ける機会をより多く作り、多様な自然を楽しく学び、大切に思う気持ちをますます高め、持続可能な社会を創造していくことに活動意義を感じるところです。

2016年も、年間を通じて社員はじめ各事業関係者の支援と協力を得て、例年通り各種事業を積極的に展開しました。しかし、ミュージアムサービス事業では大きな変化も経験することになりました。

それは3月末でミュージアムショップ運営の15年間の歴史にいったん幕を閉じたことです。2016年2月、大阪自然史センターがショップの運営権を落札できなかったことで、大阪市立自然史博ミュージアムショップのファン層の生の声を具体的に聞く機会となりました。注目されている今だからこそ活動を続け、新商品の制作も続行してこの期待に応えるべきだ、と方針を固め、そして、ひろく博物館とコラボする団体でありたいとの願いを込め、スタッフ投票で愛称「はくラボ」も決定しました。

現在は、出張販売や全国のミュージアムショップへの委託・卸販売を通して活動を続けています。新規顧客開拓や事業を顧みる期間となりましたが、ネットサービスや新商品開発の充実が図られるという結果を生み出すことができました。

他の主な事業としては、友の会事業では1月の総会に始まり、年間を通じて多彩な自然に親しむ事業を数多く実施しました。5月には友の会・センターの活動報告会・シンポジウムを開催し、改めて伝統ある活動を顧みる機会となりました。普及教育事業では、長年の経験を生かしたワークショップ事業を博物館内のみならず地域で展開し、キッズプラザでの生体展示を継続受託するなど細やかな配慮に好感を持っていただけました。

昨年に引き続き、東日本大震災復興支援にも取り組み、現地関係者の主体性を引き出すとともに協力体制が整えられてきました。

恒例となっている大阪自然史フェスティバルでは、自然史博物館と共催し、行政・公共団体のみならず企業・民間団体・地域自然系活動団体と協力し、幅広い年代層の来場する集まりとなりました。

地域NPO法人と連携した、高槻市自然博物館(あくあびあ芥川)の指定管理受託では、地域に愛される施設運営に、実績を上げています。

NPO法人格を取得してから16年、認定特定非営利活動法人として丸3年、クラウドファンディング制度にも取り組み、多くの善意に支えられ寄付件数も増加する中で、社会情勢や目の前の変化にたくましくミッション・ビジョンの実現をめざし、昨年の組織診断を生かした経営基盤強化に職員の献身的な努力が輝いた1年となりました。

今後とも、より多くの賛同者を得るべく、運営基盤となる理事会・事務局体制の一層の充実と職員資質の向上、少数精鋭でフレキシブルに対応できる組織を目指します。日常的なコミュニケーションを深化させ、関係者の意欲が形となる活動を発展させ、社員をはじめ職員、関係者を交え、自然に親しもうとする市民・市民団体とともに「自然史科学の発展と普及」に資する事業展開につなげていきたいと考えています。

## II 各事業について

### 1. 友の会事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館友の会を組織し、会報 Nature Study 毎月の12回発行と月例ハイキングや友の会合宿など自然観察事業を実施

[場 所]

大阪市立自然史博物館および大阪府下など

[日 時]

平成28年通年

[対象者]

大阪市立自然史博物館友の会へ入会した市民等 1719名(うち賛助会員80名)

### 2. ミュージアムサービス事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館・花と緑と自然の情報センターへの来館・来場者に自然史科学の普及およびサービスを実施するため大阪市から占用許可を受け、定期的な博物館との連絡会を設け博物館の掲げる趣旨に沿って自然史に関する書籍、グッズ等の提供し、春・夏・秋の特別展示をはじめ各種イベント開催にあわせ提供物品を充実させ博物館来場者・博物館ファンの満足を得られるよう物品サービスの提供に努めてまいりました。

しかし、今期はショップの運営権を落札できなかったことで、出張販売や全国のミュージアムショップへの委託・卸販売・ネットショップ等を通して活動を続けています。

2016年に企画した新商品は「マチカ ネワニTシャツ」「木へんTシャツ」「ホネテープ 絶滅版 荻野慎諧×はくらボ」「ナウマンゾウ アルミマウンテンボトル」「けものの歯バンダナ」「頭骨 スタンプ」「たまごショルダーバッグ」「木へん湯のみ」「コケ手ぬぐい」など全9アイテム。自然史系博物館や書店への卸、また、「苔展(兵庫、京都)」「博物ふえすていばる!(東京)」「植生学会(大阪)」「ジャパンバードフェス2016(千葉)」など学会や生き物をテーマにしたイベントに75回出店販売するなど、外部への販路拡大に努めました。また、ネット販売にも力を入れ、前年に勝る多くの方々にご利用いただきました。

[場 所]

大阪市立自然史博物館ほか各種学会・イベント等

[日 時]

平成28年通年

[対象者]

一般来館者・各種学会・イベント参加者等

### 3. ボランティア事業

実施なし

### 4. 出版事業

[内 容]

自然史科学の書籍の発刊企画を行い、自然観察を通じて自然史科学の普及に努める準備をした。

### 5. 調査研究受託事業

[内 容]

自然史科学の振興のための貝塚市自然環境保全基本調査・京都府外来種調査・淀川の生態系保全に関する

るアンケート調査業務等を受託・実施した。

[日 時]

平成 28 年通年

[場 所]

大阪府下等

## 6. 普及教育受託事業

[内 容]

自然史科学の普及教育のため大阪自然史フェスティバル等の各種イベント・事業のチラシ・資料・看板等作成、ワークショップなどを受託・実施した。また、博物館等維持管理の一環として大阪市立自然史博物館子ども向けワークショップ業務、大阪市立天王寺動物園から動物剥製標本の修復事業を受託実施した。キッズプラザ大阪生態展示「アリコロカナギス」維持管理業務、池田市立五月山動物園ワークショップ業務、東北支援こどもワークショップ業務等を受託実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪市立天王寺動植物園、キッズプラザ大阪、池田市立五月山動物園、大阪府下など

[実施日時]

平成 28 年通年

## 7. 自然保護・自然環境保全事業

### 関西自然保護機構

[内 容]

関西自然保護機構を組織し、会誌の発行、シンポジウムの開催、研究支援事業の実施、自然保護に関する提言、調査研究の受託、その他機構の目的を達成するために必要な事業を実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪府下など

[日 時]

平成 28 年通年

## 8 施設運営管理事業

### 高槻市立自然博物館(前高槻市芥川緑地資料館)の施設管理運営事業

[内 容]

自然史科学の振興普及および自然保護・自然環境の保全に関する体験施設の運営管理事業を実施した。

高槻市立自然博物館(前高槻市芥川緑地資料館)の施設管理運営事業の共同受託

地元の NPO 法人芥川倶楽部と大阪自然史センターが共同で「あくあびあ芥川共同活動体」を組織し、センターでは主に人事経理総務部門を受け持ち、高槻市の仕様に基づき施設の維持管理及び普及活動に邁進してきた。

[場 所]

高槻市南平台 5-59-1

[事業期間] 平成 26 年度から 28 年度末まで

### Ⅲ 社員総会の開催状況

[名 称] 平成 27(2015)年度(第 15 期)定期総会  
[場 所] 大阪市立自然史博物館集会室  
[日 時] 平成 28 (2016) 年 2 月 6 日 (土) 午後 2 時 30 分～4 時 10 分  
[出席者数] 44 名 (社員総数 70 名 本人出席 31 名、委任状出席 13 名)  
[内 容]  
議 事

第 1 号議案. 平成 27 (2015) 年度事業報告 (事業報告書参照)

事務局から定款記載の事業を例年どおり実施したことが報告され、出席社員の満場の一致をもって平成 27 (2015) 年度事業報告を承認した。

第 2 号議案. 平成 27 (2015) 年度収支決算報告 (財産目録、貸借対照表、損益計算書、活動計算書参照)

事務局から決算内容が説明され、監事から監査報告があり、出席社員の満場の一致をもって平成 27 (2015) 年度決算を承認した。

第 3 号議案. 平成 28・29 (2016・2017) 年度事業計画 (事業計画書参照)

事務局から定款記載の事業を実施する旨の提案説明があり、事業計画資料については監督官庁の指示に基づき修正することがある旨を了承し、出席社員の満場の一致をもって平成 28・29 (2016・2017) 年度事業計画を承認した。

第 4 号議案. 平成 28・29 (2016・2017) 年度活動予算 (活動予算書参照)

事務局から提案説明し、一部誤植を修正し、また、監督官庁の指示に基づき修正することがある旨を了承し、出席社員の満場の一致をもって平成 28・29 (2016・2017) 年度予算を承認した。

第 5 号議案. パナソニック NPO サポートファンド組織診断の報告・中期計画の策定について

事務局から内容説明され出席社員の満場の一致をもって承認した。

### Ⅳ 理事会の開催状況

#### 第 1 回理事会

[名 称] 平成 28(2016)年度第 1 回理事会  
[場 所] 大阪市立自然史博物館 集会室  
[日 時] 平成 28(2016)年 1 月 23 日(土)午後 1 時 00 分～3 時 40 分  
[出席者数] 11 名 (総数 12 名 本人出席 9 名、議決権行使書 2 名)  
[内 容]  
議 事

議題 1 パナソニック NPO サポートファンド組織診断の報告について

議題 2 平成 27 年度(2015 年度) 第 15 期定期総会に向けて

平成 27 年度(2015 年度) 事業報告・決算見込み

平成 28・29 年度(2016・2017 年度) 事業計画・予算

議題 3 次回理事会および平成 27 年度(2015 年度)総会等の開催について

① 平成 28 年(2016 年)2 月 6 日午後 1 時 00 分から理事会

同 午後 2 時 30 分から総会

## ② 提出議案について

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

### 第2回理事会

[名 称] 平成 28(2016)年度第 2 回理事会

[場 所] 大阪市立自然史博物館 集会室

[日 時] 平成 28(2016)年 2 月 6 日(土)午後 1 時 00 分～2 時 30 分

[出席者数] 12 名 (総数 12 名 本人出席 8 名、議決権行使書 4 名)

[内 容]

#### 議 事

第 1 号議案. 平成 27 (2015) 年度事業報告 (事業報告書参照)

第 2 号議案. 平成 27 (2015) 年度収支決算報告 (財産目録、貸借対照表、損益計算書、活動計算書参照)

第 3 号議案. 平成 28・29 (2016・2017) 年度事業計画 (事業計画書参照)

第 4 号議案. 平成 28・29 (2016・2017) 年度活動予算 (活動予算書参照)

第 5 号議案. パナソニック NPO サポートファンド組織診断の報告・中期計画の策定について

第 6 号議案. マイナンバーの運用について

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

### 第3回理事会

[名 称] 平成 28(2016)年度第 3 回理事会

[場 所] 大阪市立自然史博物館 会期室

[日 時] 平成 28(2016)年 3 月 19 日(土)午後 1 時 00 分～5 時 00 分

[出席者数] 9 名 (総数 12 名 本人出席 8 名、議決権行使書 1 名)

[内 容]

#### 議 事

議題 1 上半期の事業実施計画について

①ショップ事業の入札「落札失敗」となり、新展開の検討

ショップの運営は 3/31 までとなる。

収益事業としての柱をいかに再組立てするか、また、当初の赤字体質予算も踏まえて考えていく。

多岐にわたるセンター事業のなかで、事業別に黒字体質の部分からの補てんについて検討していく。

事務局の 5 案および新たに堺市内の場所を加え、併せて収支想定を踏まえて、今後のショップ展開について次回の理事会に諮る。

②4/29 活動報告会の企画

事務局から 2 名が東北支援事業、2015 経営基盤強化事業について報告する、(博物館の報告と合わせ、夕方からは見聞録報未定)となる予定

③高槻市自然博物館指定管理事業について (2017-2021 に向けて)

2016 年 6 月ごろから、2017-2021 年の指定管理事業受託に向けての本

格的事務に入る。

市立博物館となった意義を反映し充実させた計画を策定していく。  
地元 NPO 法人芥川倶楽部との共同活動体を継続する。

④その他事務事業

WS 事業はプロポーザルで落札した。ほか、キッズ・五月山  
事業は継続となっている。

議題 2 事務局雇用体制の検討

職員の勤務体制の変更と給与の 1 号俸アップについて検討した。  
5/週勤務者 3 名を 4/週とする。  
米澤里美さんを事務局次長として、事務局の充実を図ることとした。

議題 3 就業規則の改正

就業規則の中で、勤務体制の変更に整合させるよう条文変更を  
事務局にゆだねることとした。

議題 4 経営基盤強化中期計画の実施について

2016 年度はパナソニック助成を逃したが、次年度に向けて申請  
準備することとし、本年度は中期計画の実施に努める。

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

#### 第 4 回理事会

[名 称] 平成 28(2016)年度第 4 回理事会

[場 所] 大阪市立自然史博物館 応接室

[日 時] 平成 27(2015)年 4 月 2 日(土)午後 1 時 30 分～5 時 30 分

[出席者数] 11 名 (総数 12 名 本人出席 9 名、議決権行使書 2 名)

[内 容]

議 事

議題 1 ショップ事業の今後について

堺の物件を利活用・展開方法について  
事務局が中心となり現場担当者の意見を重視し進める。

議題 2 経営基盤強化中期計画の実施について

議題 3 その他

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

#### 第 5 回理事会

[名 称] 平成 28(2016)年度第 5 回理事会

[場 所] 大阪市立自然史博物館 集会室

[日 時] 平成 28(2016)年 4 月 29 日(金)午後 11 時 00 分～12 時 15 分

[出席者数] 7 名 (総数 12 名 本人出席 7 名、議決権行使書 0 名)

[内 容]

議 事

議題1 ショップ事業の進捗について

- ①堺の物件(ウラのソウコと称す)について賃貸契約(10000円/月)を結び、借りるにあたり双方で話し合いルールを決めて活用する。
- ②ショップ在庫品の保管・サイエンスカフェのスペース等として活用する。  
サイエンスカフェは当初1回/月程度を目標に実施する。  
第1回は6/18(土) 1部 15~18時 一般オープンで  
2部 18~21時 交流会(予約制)
- ③ウラのソウコのショップ関係の管理等については池内さんを主担当とする。

議題2 その他

- ① 自民党政務調査会のNP0特委に道盛理事出席報告
- ② 生物多様性普及啓発事業 大阪府 90万円 経費を考えて進める。  
5/22 キックオフイベント
- ③ 出張販売等について  
学会・講演会・観察会等で出店料・人件費等のコストを考え、積極的に進める。  
卸しは買い取りは良いが、委託販売は管理が大変である。
- ④ 平成27年度高槻市立自然博物館決算について

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

## 第6回理事会

[名称] 平成28(2016)年度第6回理事会

[場所] 大阪市立自然史博物館 集会室

[日時] 平成28(2016)年7月30日(土)午後1時00分~3時15分

[出席者数] 9名 (総数12名 本人出席 5名、議決権行使書 4名)

[内容]

### 議 事

議題1 上半期事務・事業の進捗について

ミュージアムサービス事業に関しては店舗販売ができなくなったが、出張販売・卸販売・ネットショップ等、職員の頑張りもあり実績は上がっている。卸販売は新規の引き合いもあり伸びる可能性あり。他の事業に関しても担当者の節減意識も高く、ほほいい感じで進んでいる。赤字は否めないかもしれないが、赤字幅は当初の予想より抑えられる見込みです。

議題2 就業規則の改正について

年次雇用職員の勤務時間削減により、就業規則に1週間に21時間(3日)勤務を追加。  
7月1日より施行

議題3 下半期の取り組みについて

- \* 次年度ミュージアムショップ入札について前向きに検討
- \* 友の会・KONC等会費の消費税について確認
- \* 次年度役員改選について検討
- \* 高槻市立自然博物館のH29年より5年間の指定管理について行政との打ち合わせ
- \* 大阪府生物多様性ネットワーク 7/16よりスタンプラリー開始
- \* 環境省、生物多様性事業の一環として「森・川・里・海」事業の事務局として予定

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

## 第7回理事会

[名 称] 平成 28(2016)年度第 7 回理事会

[場 所] 大阪市立自然史博物館 館長室

[日 時] 平成 28(2016)年 11 月 20 日(日) 12 時 00 分～13 時 05 分

[出席者数] 8 名 (総数 12 名 本人出席 5 名、議決権行使書 3 名)

[内 容]

### 議事

#### 議題 1 Panasonic NPO サポート ファンド助成事業について

事務局 議題の事業が採択されたが、条件付きである、理事会の議事録が必須となった。運営について将来を見通した計画づくりを進め、昨今の経営状態から脱していきたくないので、理事各位の果敢な参画をお願いしたい。

理事 良い機会を与えられた。一昨年の計画が実現に向けた着実な経営体制を伴った形となるようにしたい。

理事 理事メンバーの更新も踏まえたものとして、内部を固めることが喫緊の課題となる。

理事 経営の視点から、今年のショックは現実的な見直しを図らざるを得なかった。決算見込みから見ると様々な努力が見られた。まだまだ、安定した経営とはいかないまでも、この改善を糧として、より明確な経営計画を立てなければならない。

理事 センターのミッションを叶えていく事業は多彩に展開中(今日の大阪自然史フェスティバルはその最たるもの、開催の仕組みも改善され来場者数も昨年を上回る勢い)であるが、それぞれ地域コミュニティとの連携を図って進めてきたものを、より深めたい絆が相互に結びつき永続される形としていきたい。今回の事業採択で進められるものとする。

監事 収益性を各事業で確実なものとなるように組み立てることが必須である。

理事長 事業採択について、職員・事務局の熱意が伝わってきた。今日までのセンターの在り方は、一般的な NPO 活動とは異なり、民・公・官のバランスを持った活動であったが、経営的視点は貧弱であったことは否めない。このパナソニックサポートファンドの機会をとらえて、ミッション・ビジョン・中期計画を明確化させ、センター改革を一層進めることとしたい。

#### 議題 2 その他 下半期の取り組みについて

- \* 次年度ミュージアムショップ入札の検討
- \* 次年度役員改選について検討
- \* 高槻市立自然博物館の H29 年より 5 年間の指定管理について (報告)
- \* 12/4 生物多様性保全ネットワーク事業 (報告)
- \* 環境庁、生物多様性事業の一環として「森・川・里・海」事業の開始

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。

## 第8回理事会

[名 称] 平成 28(2016)年度第 8 回理事会

[場 所] 大阪市立自然史博物館 会議室

[日 時] 平成 28(2016)年 12 月 24 日(土)午後 3 時 00 分～6 時 15 分

[出席者数] 12 名 (総数 12 名 本人出席 9 名、議決権行使書 3 名)

[内 容]

### 議事

#### 議題 1 パナソニック NPO サポートファンドについて(資料参照)

2018 年度に助成金 200 万円をいただけることになり、中期的な成果目標・年間スケジュール等について説明。

議題 2 2016 年（平成 28 年）事務事業について（資料参照）

議題 3 2016 年（平成 28 年）決算について（資料参照）

今期はショップの店舗販売を失い、大きな赤字を心配をしていたが、人件費の削減・ショップの出張販売等新たな販路の開発・職員の頑張り・サポートしてくださっている方々の応援等のおかげで若干の赤字に落ち着きそう。

議題 4 2017 年（平成 29 年）事業計画・予算について（資料参照）

次期ショップ入札による影響が大きく、現時点では現状維持（ショップ店舗なし）で予算組み。

議題 5 新年度役員の選出について

改選年度にあたり新年度役員体制について協議。

議題 6 その他（総会の開催予定）

2017 年（平成 29 年）2 月 4 日 午後 1 時から理事会・ 午後 3 時から総会開催予定。

以上、事務局提案のとおり出席理事全員の一致で承認された。